

こぶしだより
1997年12月26日(木)
発行 第199号
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

劇団「四季」 ミュージカル

今年も日産労連より招待を受け、去る11月27日(水)、劇団四季ミュージカル『嵐の中の子どもたち』クリスマスチャリティ公演を観劇してきました。

今回は、けやきの仲間とこぶしの仲間約10名(車椅子を中心に)が1F席、その他の仲間が3F席と分かれてしまいました。それぞれお互いに手を振り合せて、開演前から盛り上がりました。(?!)

中には高い所が苦手な仲間もいて汗をかいて少々緊張気味それでも、開演と同時に軽快な音楽と共に展開される華やかなステージに、たちまち見入ってしまいました。

約2時間のステージでしたが、仲間たちの大好きな明るい音楽と踊りに、皆飽きることなく最後まで楽しみました。



けやき作業所施設拡充・デイサービスセンター新設支援!!

ひろがれコンサート

喜納昌吉/栃木県総合文化センター
97年5月26日(月)

実行委員(ボランティア)大募集!

県内には、障害者の施設が不足しているため、友達もなく、自宅に閉じこもった障害者がたくさんいます。このことは、本人にとっても社会にとっても不幸なことです。そのため、社会福祉法人こぶしの会は、けやき作業所(こぶし作業所芳賀分場)の定員増員の計画をすすめています。具体的には、けやき作業所の増設とデイサービスセンターの新設でその実現を図る予定です。けやき作業所の建設には、たくさんの建設資金が必要になります。建設資金づくりのために、また、沖縄の問題をともに考え、日本と世界中に平和の「花」を咲かせようというメッセージを広げるために「ひろがれコンサート」を企画しました。こぶしの会では、建設時より多くの地域の方々の参加を得て、地域に開かれた施設の運営を目指しています。豊かな生活を作り上げていく作業所づくりに、みなさまがたの暖かいご協力をお願いいたします。

喜納昌吉さんは、1968年沖縄県コザ市生まれ。高校時代に制作出した「ハイサイおじさん」は沖縄・日本で大ヒット、1968年には、喜納しょうきち&チャンブルーズを結成、セカンドアルバム「BLOOD LINE」に収録された「花(すべての人の心に花を)」は日本・アジアはもとより世界15カ国で多くのアーティストに歌われました。1996年のアトランタオリンピックの開会式には5大陸のアジア代表として出演した世界的アーティストです。

第1回実行委員会

と き 97年1月18日(土) 午後7時~9時
とこ 宇都宮市東コミュニティーセンター

今後の事業計画

- 3月1日(土) ダンスパーティー
- 5月26日(月) 於市貝町町民ホール
- 8月 「どんぐりの家」上映会
- 喜納昌吉コンサート
- 於総合文化センター

こぶし ボランティア 紹介

こぶしの仲間の皆さん今日は、私は7月から仲間の皆さんと散歩や仕事を一緒にしています。元気な挨拶が気持ち良く、そしておしゃべりをするのがとても楽しみです。伊東温泉にも一緒に行きました。バスの窓から見た景色は今でも楽しい思い出となって残っています。青い海、緑の葉に黄色いみかんなど楽しい旅行でした。

これからも一緒にいろいろな事をやりたいと思っています。仲良くして下さいね。お友達になりましょう。

(和田ちい)

1月のこよみ

- 1(水) 休所日
- 5(日) 休所日
- 11(土) 指導会議
- 12(日) 休所日
- 15(水) 成人の日
- 18(土) 職員会議
- 19(日) 休所日
- 25(土) 休所日
- 26(日) 日曜作業所



共作連とちぎ

第2回

実践交流集会

開かる!!

去る12月7日(土)、共作連とちぎ第2回実践交流集会が、宇都宮市文化会館に於いて開かれました。テーマは、「障害者の人格発達と自治活動」とし、日頃の作業所生活の中で課題となっている「自治活動」について学び合いました。

前半は、昨年の第1回交流会にもご出席いただいた宗沢忠雄先生(埼玉大学助教授)による講演がありました。最近話題(問題)になっている厚生省岡光容疑者の「本当に人間として自立していたのか」というお話しから集団と自治集団づくりの視点などをわかりやすくお話しして下さいました。

後半は、自治会活動を中心とした2本のレポートの発表がありました。ひとつは、ゆうの家(栃木市)の、特に自治会活動をスタートしたばかりのところの、それまでの取り組みを含めた報告を、そして、こぶし作業所の16年の自治会活動を振り返りながら、特に障害の重い人たちをどう巻き込みながら取り組んできたかが報告されました。

時間がなく十分な討議まではできませんでしたが、自治会は形を作る事が大切なのではなく、仲間たちが主人公として自ら作り上げていくものであることを改めて思わされた交流会となりました。

今回は、作業所や施設職員のみならず、在宅障害者の方、公的機関の職員の方など、幅

みんなで大地96・12

休日のひとつときを子どもといっしょに公園を散歩したりすることは、小生の元氣回復の源である。子どもと共有できる時間はもう2、3年後にはないだろうと思いつつ、いとおしむように楽しんでいる。その休日の公園のベンチに必ず座っている障害者がいる。彼女は近くの自宅から自転車に乗ってきて、日曜日をぼんやりと過ごす。公園を管理している近くのおじさんがときおり声をかけると彼女は大きな声で応える。

彼女は私より少々若い壮年期である?。数年前までは地域の福祉作業所に通っていたが、がんばりやサンだ。つまり今は作業所で働いてはいない。高齢になる母の介護に毎日従事している。日曜日は父が休

日になるのでこうして公園で息抜きをしているのだ。ぼんやりと1日を過ごすのが生きる活力になっていくのは私も彼女も同じだろうと思う。しかし、そうした時間は日常の充実した時間(自己実現・自分が社会の役に立っているという実感)によって価値が出てくるのではないのだろうか。

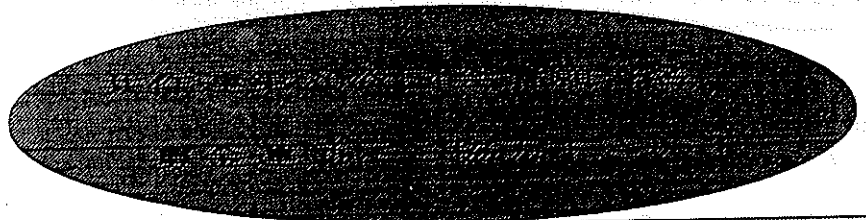
私の町ではすでにゴールドプランの数値目標はクリアーをしていて、高齢者福祉は進んでいる方である。その町で障害者の介護でやっと息をついているお年寄りがいるのだ。多くの関係者待望の障害者プランは今までの障害者関係予算の伸びより低い。岡光・小林問題で、またぞろ福祉ばらまき論などが流布されるのを恐れる。ところで、もしかしたらこのとんぼは正月に飛ぶのであろうか。もっとさわやかな空にすべきだったと後悔する鬼やんまである。

広い参加者を得る事ができました。(資料等)ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。(鈴木)

共作連カレンダー 販売中

- ☆ 働らく仲間のうた 1200円
- ☆ どんぐりの家 1200円

ご協力お願いします



共作連は結成以来、国に対する小規模作業所の本格的制度化を中心とする国会請願を19年間行い、様々な成果や前進を生み出してきました。そして、第20次請願運動は、

- ・タテ割行政、法律の改善
- ・小規模作業所補助金制度の拡充
- ・「障害者活動センター」の制度化

を主な内容として、すでに10月からスタートしています。是非ご協力をお願いいたします。尚、寄せられました要金は、署名用紙などの印刷、国会請願などの活動費共作連の各集会参加のために使わせていただきます。(用紙不足の場合はご連絡ください。)

※最終集約 3月20日

けやき ロマンの湯 招待

去る12月10日(火)に芳賀町温泉振興会よりロマンの湯に招待され、けやきの仲間・専門学校の実習生・職員で行きました。午前11時半頃温泉に着き和室に案内され、青山けやき後援会会長と振興会会長より「今日はゆっくりと温泉に入って下さい」というあいさつをいただき、全員温泉に入り、昼食も自分の好きなものを注文しごちそうになりました。本当にありがとうございました。(田島)